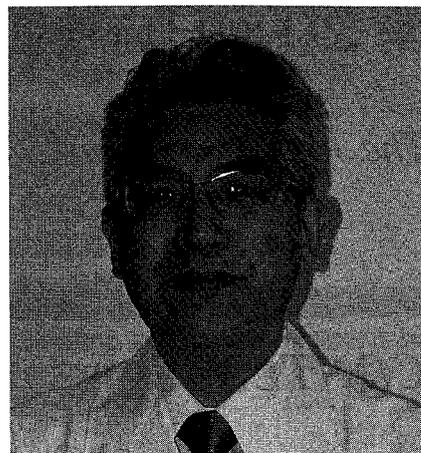


第20回日赤検査学術大会 開催にあたり

第20回日本赤十字社臨床検査技師会学術大会

大会長 金子 心学

(前橋赤十字病院)



第20回日赤検査学術大会を東京都渋谷区広尾、日本赤十字社看護大学で開催させていただくことになりました。東部ブロックで担当するのは6回大会、13回大会に次いで3回目になります。2年前に準備委員会を立ち上げた時には、「まだまだ」と思っていたのですが、抄録発行となり、「いよいよ」という実感が湧いてきたところです。

本学術大会のテーマを「臨床検査からもっとクロス -グローバルな視点に立って-」としました。臨床検査技師として、世界的な視野に立って自己研鑽することは勿論ですが、チーム医療が定着した今、他職種を理解し、揺るぎ無いチームワークで、健康に寄与するグローバルな視点に立つことが臨床検査の発展につながると考えました。

プログラムも「グローバルな視点に立って」に焦点を当てて企画しました。

学術講演として、国立感染症研究所ウイルス第一部 部長 西條政幸先生に「日本におけるSFTSの流行と最近の話題」について講演をお願いしました。感染症は、SFTS（重症熱性血小板減少症）、デング熱、MERS（中東呼吸器症候群）、エボラ出血熱と、国内だけでは想定できないグローバルな視点での検査、診断、治療が必要です。日本における最新の感染症情報が、お聞きできると思います。

特別講演は、世界一高いタワー《東京スカイツリー》の施工会社大林組建築本部プロポーザル部 高木浩志先生に「世界に誇るスカイツリー建築技術」について、講演をお願いしました。世界に誇る日本の建築技術について東京スカイツリーを中心にお話ししていただきます。

一般演題も、各分野から34題のご発表をいただきます。また、1日目には、ランチョンセミナーを予定しています。

メイン会場となる日本赤十字社看護大学広尾ホールは、日本赤十字社医療センターの隣に位置し、最大500名収容できる立派な会場です。渋谷駅にも近く、学会終了後は、渋谷ヒカリエなどファッション・アートの発信地を堪能してはいかがでしょうか。少し足を伸ばして、世界に誇る東京スカイツリーにも是非お立ち寄りください。

お昼休みを、少し長めに設定しました。お集まりいただいた日赤臨床検査技師の親交の場になればと思っています。

この大会は、担当する東部ブロック全20施設すべてから、実行委員及び当日スタッフをお願いしています。役員一同、たくさんの会員の方たちのご参加をお待ちしています。